

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
アラキドン酸	<p>「アラキドン酸」はリノール酸の代謝産物で胎児期から新生児期にかけて、脳神経系や網膜組織に多く蓄積される不飽和脂肪酸。植物にはほとんど含まれないため、自ら十分な量を生産できない動物などは、他の動物の捕食によって摂取する必要がある。</p> <p>〈国外〉 ・脱脂粉乳により哺乳された乳児のリノール酸欠乏症の報告</p>	<p>〈国内〉 ・食品安全委員会による評価状況：なし ・厚生労働省：日本人の食事摂取基準(2010年版)：アラキドン酸はn-6系脂肪酸に分類され、n-6系脂肪酸の目標量(上限)を総エネルギー摂取率の10%Eとしている。</p> <p>〈国外〉 ・リノール酸としての情報でアラキドン酸に関する情報はほとんどない。</p>